

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
科学的根拠に基づくがん情報の提供及び均てん化に向けた体制整備に資する研究（23EA1026）
（分担研究報告書）

Web上におけるがんに関するガイドラインの公開状況について

研究協力者 西迫 宗大 国立がん研究センター がん対策研究所 がん情報提供部（特任研究員）
研究分担者 八巻知香子 国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部（室長）
研究代表者 若尾 文彦 国立がん研究センター がん対策情報センター本部（副本部長）

研究要旨

本研究は、医療ガイドラインのAI活用を視野に入れた情報支援システムの基盤整備を目的として、Web上で無料公開されているがん関連ガイドラインの現状を網羅的に調査・整理した。対象は、2025年3月時点で入手可能な過去5年以内に発行されたがん診療に関する74編のガイドライン（医療者向け・患者向け）であり、それらのWeb公開状況、ファイル形式（HTML/PDF）、対象がん種、旧版の掲載有無、過去1年間における公開状況の変化について確認した。その結果、74編のうち82%に相当する61編がWeb上に公開されており、うち92%が現行版であった。形式としてはPDF形式が多く、身体領域ごとの分類においても広範囲をカバーしていた。一方、Web上での公開が確認できなかった13編では書籍または有料電子版の形式が主であり、さらに5編は旧版のみのWeb掲載にとどまっていた。これらはAIの参照対象としては活用が困難であり、ガイドライン情報の均等なアクセスに課題があることが明らかとなった。また、過去1年間の変化として、2024年時点でWeb無料公開されていた7編が2025年には非公開となり、逆に7編が新たにWebで閲覧可能となり、年度ごとの偏移も認められた。こうした変化は改訂や出版のタイミングに起因すると考えられ、公開方針や更新時期に関する情報提供の必要性も示唆された。将来的なAI活用の推進において、公開体制の整備とAIによる可読性の向上が不可欠であり、これにより、医療現場での情報探索支援が進むとともに、一般向けにもガイドラインの活用が促進されることが期待される。

A. 研究目的

医療ガイドラインは、最新の科学的根拠に基づき診療の標準化と質の向上を図るための重要な情報源であり、がん診療においても医療従事者が患者支援や説明の場面で日常的に活用している。一方で、その内容は専門的かつ膨大であり、短時間で必要な情報を抽出するのは容易ではない。さらに、ガイドラインごとに記載形式や構造が異なるため、検索や活用には経験や知識が求められる。また、ガイドラインは定期的に改訂されるため、常に最新の情報にアクセスできる環境整備も重要な課題である。

医療ガイドラインのAI活用における初歩的な工程として、WebガイドラインのテキストをAIが読み込むプロセスが必要となる。その際、どの程度の・どのようながん種で・どのような形式でガイドラインが利用できるのか把握されていることが重要となる。同時にガイドラインのAI活用の視点における課題を予め抽出し、解決策を検討する必要もある。このよう

な取り組みを経てAIが意味のある形で横断的にガイドライン情報を読み取り、医療者の情報探索を支援できるようになる。

本研究は、医療者向けの情報支援データベースの構築およびAI利用における情報活用を視野に入れ、Web上で公開されているがん関連ガイドラインを網羅的に調査した。Web公開の現状から解決すべき課題を考察した。

B. 研究方法

がんに関する各種ガイドラインの状況を確認した。2025年3月時点で入手可能ながんに関するガイドラインを対象に、そのWeb公開状況・属性・過去1年間における公開状況の変化を分析した。なお、本研究において、「ガイドラインのWeb公開」とは、Web上で購入手続きを経ずして（＝無料で）現行版ガイドラインの内容を確認できる状態と定義した。

1. ガイドラインの確認とWeb公開状況

2025年3月の段階で、過去5年以内に出版されたがんに関する「医療者向けガイドライン」（以下；医療者向け）および「解説・患者向けガイドライン」（以下；患者向け）の計74編について、ガイドラインのWeb公開状況（Web版公開の有無・現行版の掲載の有無）を記録した。

2. Web公開されているガイドラインの属性

1.の記録の中からWeb公開されているガイドラインを抽出し、ガイドラインの名称、公開の形式；HTML/PDF、対象がん種・部位、医療者向け/患者向け分別、ガイドラインの内容（個別がん/横断的）、編著の記載およびその内訳を集計した。

3. その他のガイドライン（Web公開なし/現行版の掲示なし）の記載

項目2. においての対象とならないガイドラインについて、名称、編者を確認した。旧版のWeb掲載有無を確認した後、旧版Web掲載を認めない場合は、その開示形式を調べた。

4. 過去1年間におけるWeb掲載の偏移

2024年1月時点（以下；2024年）でのWebガイドラインの状況との比較を行った。令和5年度 科学的根拠に基づくがん情報の提供及び均てん化に向けた体制整備に資する研究（23EA1026：研究代表者 若尾 文彦）報告中「医療者向けの情報支援データベースの整備 - 原型となるプラットフォーム案の作成 -」から2024年における67編のWebガイドラインの掲出状況を調べたデータを収集し、個々のガイドラインの状況を照らし合わせた。2025年時3月時点（以下；2025年）において、Web掲載を認めなくなったもの、逆に新規にWebで利用できるようになったガイドラインの名称を記載しその内訳を集計した。なお、7編のガイドラインについては2024年のデータが欠如していたため、解析から除外した。

（倫理面への配慮）

本研究は、個人情報を取り扱うことはない。したがって、個人情報保護上は特に問題は発生しないと考える。

C. 研究結果

1. がんに関するガイドラインのWeb公開状況（図）

74編の解析対象ガイドライン対して、Web公開さ

れているものは61編であり、解析対象の82%を占めた。現行版がWeb公開されていたのは、56編であり、Web上で確認できるうちの92%であった。現行版の公開形式として、PDF形式が35編、HTML形式が21編でありPDF形式の掲出がHTML形式と比較し多い結果であった（62% vs. 38%）

2. Web公開されているガイドラインの属性（表1, 表2.）

Web上に無料公開され、そのファイル形式がHTMLのガイドラインについて、患者向けは4編、医療者向けは17編であった。内容は個別がんが対象のもの16編に対し、横断的な内容のものが5編であった。対象がん種を身体領域ごとに分類すると、胸部（肺がん、乳がん等）は5編、泌尿器（腎がん・膀胱がん）3編、脳神経（脳腫瘍）・消化管（大腸がんなど）および女性特有はそれぞれ2編、肝胆膵・血液リンパはそれぞれ1編であった。その他（5編）には、リハビリテーション・妊孕性・高齢者等に関するガイドラインが該当した。同様にファイル形式がPDFのものは、患者向け1編・医療者向け34編であり内容は個別がんが対象のもの19編に対し、横断的な内容のものが16編であった。その内訳は、肝胆膵 5編、女性特有（子宮体がん、卵巣がん）3編・頭頸部 2編・男性特有（前立腺がん）・消化管・血液、リンパはそれぞれ1編であった。その他（20編）には、希少がん・痛み、陽子線治療・せん妄・アピアランスケア・コミュニケーション・遺族ケア・腎障害に関するガイドラインが該当した。

3. その他のガイドライン（Web公開なし/現行版の掲示なし）（図, 表3.）

解析対象とした74編のうち、Web上に公開されていないガイドラインは13編であり、書籍のみもしくは有料電子版の状態であった。また、5編は旧版のみWeb上で無料公開されていた。

4. 過去1年間におけるWeb掲載の偏移（表4.）

2024年と2025年においてWeb掲出で偏移が見られたガイドラインは合計14編認められた。2024年Web上で利用（現行版かつ無料）できたガイドラインが2025年に利用できなくなったものは7編認められた。そのうち4編は旧版のWebガイドラインは削除された状態であり、3編の旧版はWeb上に残されていた。逆に2025年に新たにWebガイドラインの閲覧が可能となったものは7編であり、4編は旧版から最新版へと更新がなされ、1編は新規に（2024年ではWeb閲覧不

能な状態) Webガイドラインの掲示がされた。2編は日本医療機能評価機構 (Minds) のWebサイト (Mindsガイドラインライブラリー; <https://minds.jcqh.or.jp/>) において掲出が開始されたものであった。新規に閲覧が可能となったガイドラインの表示形式はHTMLが2編、PDF形式が5編であった。

D. 考察

生成AIによる医療情報の活用は、今後ますます拡大することが予想される。特に、がん領域では対象疾患が多岐にわたり、多様なガイドライン情報へのアクセスが求められる。このような状況において、AIが各領域のガイドラインを横断的に参照・活用できる環境を整備することが重要である。本研究では74編のガイドラインを解析対象として、それらのWeb公開状況の現状、年度による公開状況の変化を把握した。

ガイドラインのWeb公開状況の現状

本研究において、解析対象とした74編のがん領域ガイドラインのうち、51編がWeb上で無料かつ所定形式 (HTMLまたはPDF) で公開されており、身体領域ごとの分類においても広範囲をカバーできることが明らかとなった。これは、生成AIによる利用可能な情報リソースとして、一定の整備が進んでいることを示している。その一方、18編のガイドラインは、調査時点では利用する事ができなかった。その内訳としては、書籍のみで提供されているケース、最新版がWebで公開されておらず旧版のみが閲覧可能なケース、有料の電子書籍としてのみ提供されているケースなどがあった。これらは、生成AIの参照情報としては利用が困難であり、情報の不均衡や活用の障壁となる可能性がある。今後、書籍のみで発行されているガイドラインについては、各学会に対してWebでの公開を働きかけることが必要であり、ガイドラインのWeb版作成にあたっては、技術的・運営的な支援体制の整備が求められる。

公開状況の変化と課題

ガイドラインの公開状況は固定的ではなく、年度ごとに変動が見られた。2024年にWeb上で利用が可能であったガイドラインのうち、2025年には利用できなくなったものが7編存在した。これらはすべて、2024年以降に改訂や新刊の発行があったものであった。旧版となるガイドラインをWeb上で閲覧できるようにしておくのか、一度削除するかは、運営元の各学会の方針に委ねられており、これらのガイドラインは準備期間を経てWeb上で使用できるようになるものと推察された。一方、2025年に新たにWeb上で利用可能となったガイドラインも7編確認された。内訳としては、4編が2024年時点で掲載準備中であったと推定され、2編はMindsによる新規掲載、

1編は学会ホームページでの新たな公開によるものであった。このように、改訂や出版のタイミングにより、一時的にWeb上での利用が停止されるケースや、最新版のWeb公開にタイムラグが生じる課題が明らかとなった。改訂などにより一時的に非公開となるガイドラインに関しては、更新予定や公開時期、旧版の取り扱いについての情報を事前に公表することで、AI利用の円滑化だけでなく、医療現場の混乱の回避にもつながると考えられた。調査の中で、新たにWeb上で公開されるガイドラインが確認された。これは、今後のAI活用において大きな可能性を示すものであり、より多くのガイドラインが無料かつAIが可読な形式で利用可能になることが期待される。医療分野におけるAI活用の信頼性と精度を支える基盤として、Web上でのガイドライン公開の継続的な把握と整備は、今後さらに重要性を増すと考えられる。

E. 結論

AIが医療ガイドラインを活用することを目的として、多くのガイドラインは利用可能な状況にあるものの、書籍のみや旧版のみが公開されているガイドラインも存在している。また、改訂時には一時的にWeb非公開となるガイドラインもあり、今後は公開状況の継続的な把握と情報提供体制の構築が求められる。将来的なAI活用の推進において、公開体制の整備とAIによる可読性の向上が不可欠であり、これにより、医療現場での情報探索支援が進むとともに、一般向けにもガイドラインの活用が促進されることが期待される。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 書籍発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

解析の対象 74 編

Web での公開

あり：61 編 (82%)

なし：13 編 (18%)

現行版の Web 公開

あり：56 編 (92%)

なし：5 編 (8%)

現行版の公開形式

HTML：21 編 (38%)

PDF：35 編 (62%)

図. がんに関するガイドラインのWeb公開状況 (2025年3月現在)

表1. Web上において無料・HTMLファイル形式で掲出されているガイドライン；21編 (2025年3月現在)

	ガイドライン名称	表示形式	部位	対象	内容	編著
1	患者さんのための肺がんガイドブック 2024年度版	HTML	胸部	患者	個別がん	日本肺癌学会
2	患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2023年版 第7版	HTML	胸部	患者	個別がん	日本乳癌学会
3	遺伝性乳がん卵巣がんを知らう！ みんなのためのガイドブック 2022年版	HTML	女性特有	患者	個別がん	ゲノム情報を活用した遺伝性腫瘍の先制的医療提供体制の整備に関する研究班 / 日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療機構 (JOHBOC)
4	患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2022年版 第4版	HTML	消化管	患者	個別がん	大腸癌研究会
5	脳腫瘍診療ガイドライン 成人脳腫瘍編 2024年	HTML	脳・神経	医療者	個別がん	日本脳腫瘍学会/編 日本脳神経外科学会/監修
6	脳腫瘍診療ガイドライン 小児脳腫瘍編 2021年版	HTML	脳・神経	医療者	個別がん	日本脳腫瘍学会
7	肺癌診療ガイドライン-悪性胸膜中皮腫・胸腺腫を含む2023年版	HTML	胸部	医療者	個別がん	日本肺癌学会
8	1.乳癌診療ガイドライン2023年版 治療編	HTML	胸部	医療者	個別がん	日本乳癌学会
9	乳癌診療ガイドライン 2022年版 疫学・診断編	HTML	胸部	医療者	個別がん	日本乳癌学会
10	GIST診療ガイドライン 2022年版	HTML	消化管	医療者	個別がん	日本癌治療学会
11	膵・消化管神経内分泌腫瘍 (NEN) 診療ガイドライン2019年 (第2版)	HTML	肝胆膵	医療者	個別がん	日本神経内分泌腫瘍研究会 (JNETS) / 膵・消化管神経内分泌腫瘍診療ガイドライン作成委員会編
12	腎癌診療ガイドライン 2017年版 (第1版) 2020年貼り付け	HTML	腎・尿管・膀胱	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会編
13	腎盂・尿管癌診療ガイドライン 2023年版	HTML	腎・尿管・膀胱	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会
14	膀胱癌診療ガイドライン2019年版第3版 (2021 Up date)	HTML	腎・尿管・膀胱	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会/編
15	造血器腫瘍診療ガイドライン 2023年版	HTML	血液・リンパ	医療者	個別がん	日本血液学会
16	成人・小児進行固形がんにおける臓器横断的ゲノム診療のガイドライン 第3版	HTML	その他	医療者	横断的	日本臨床腫瘍学会 / 日本癌治療学会 / 日本小児血液・がん学会
17	高齢者のがん薬物療法ガイドライン	HTML	その他	医療者	横断的	日本臨床腫瘍学会/日本癌治療学会
18	がんのリハビリテーション診療ガイドライン (第2版)	HTML	その他	医療者	横断的	日本リハビリテーション医学会 / がんのリハビリテーションガイドライン策定委員会編
19	G-CSF適正使用ガイドライン2022年10月改訂 第2版	HTML	その他	医療者	横断的	日本癌治療学会
20	乳癌患者の妊娠・出産と生殖医療に関する診療ガイドライン 2021年版 第3版	HTML	その他	医療者	横断的	特定非営利活動法人日本がん・生殖医療学会
21	遺伝性乳癌卵巣癌 (HBOC) 診療ガイドライン 2024年版	HTML	女性特有	医療者	個別がん	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療機構 (JOHBOC)

表2. Web上において無料・PDFファイル形式で掲出されているガイドライン；35編（2025年3月現在）

	ガイドライン名称	表示形式	部位	対象	内容	編著
1	患者さんと家族のためのがんの痛み治療ガイド 増補版	PDF	その他	患者	横断的	日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会
2	頭頸部癌診療ガイドライン 2022年版 第4版	PDF	頭頸部	医療者	個別がん	日本頭頸部癌学会
3	2024年度版甲状腺腫瘍診療ガイドライン	PDF	頭頸部	医療者	個別がん	日本内分泌外科学会/日本甲状腺外科学会
4	肝癌診療ガイドライン 2021年版 第5版	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝臓学会
5	肝内胆管癌診療ガイドライン2021年版	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝癌研究会
6	転移性肝がん診療ガイドライン	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝胆膵外科学会
7	胆道癌診療ガイドライン 改訂第3版	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本肝胆膵外科学会/胆道癌診療ガイドライン作成委員会編
8	膵癌診療ガイドライン 2022年版 第6版	PDF	肝胆膵	医療者	個別がん	日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会
9	前立腺癌診療ガイドライン2023年版	PDF	男性特有	医療者	個別がん	日本泌尿器科学会編
10	腹膜播種診療ガイドライン 2021年版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本腹膜播種研究会
11	後腹膜肉腫診療ガイドライン	PDF	その他	医療者	個別がん	日本サルコーマ治療研究学会, 日本癌治療学会
12	子宮頸癌治療ガイドライン 2022年版 第4版	PDF	女性特有	医療者	個別がん	日本婦人科腫瘍学会
13	子宮体がん治療ガイドライン2023年版 第5版	PDF	女性特有	医療者	個別がん	日本婦人科腫瘍学会
14	卵巣がん、卵管癌、腹膜癌治療ガイドライン 2020年版	PDF	女性特有	医療者	横断的	日本婦人科腫瘍学会
15	皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン 第3版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本皮膚科学会 / 日本皮膚悪性腫瘍学会
16	原発不明がん診療ガイドライン 改訂第2版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本臨床腫瘍学会編
17	軟部腫瘍診療ガイドライン2020 改訂第3版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本整形外科学会
18	原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン2022	PDF	その他	医療者	個別がん	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会, 原発性悪性骨腫瘍診療ガイドライン策定委員会
19	骨転移診療ガイドライン改訂第2版	PDF	その他	医療者	個別がん	日本臨床腫瘍学会
21	高齢者がん診療ガイドライン2022年版	PDF	その他	医療者	横断的	高齢者がん診療ガイドラインとその普及のための研究研究班
22	進行性疾患患者の呼吸困難の緩和に関する診療ガイドライン 2023年版 第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会
23	がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版 第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本緩和医療学会
24	がん患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き 2023年版 第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本緩和医療学会 ガイドライン統括委員会
25	がん薬物療法に伴う末梢神経障害診療ガイドライン 2023年版 第2版	PDF	その他	医療者	横断的	日本がんサポーターケア学会
26	がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン2017年版	PDF	消化管	医療者	横断的	日本緩和医療学会緩和医療ガイドライン作成委員会編
27	がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン 2023年版 第3版	PDF	その他	医療者	横断的	日本がん看護学会/日本臨床腫瘍学会/日本臨床腫瘍薬学会
28	がん患者におけるせん妄ガイドライン 2022年版 第2版	PDF	その他	医療者	横断的	日本サイコオンコロジー学会 / 日本がんサポーターケア学会
29	がん治療におけるアピアランスケアガイドライン 2021年版 第2版	PDF	その他	医療者	横断的	日本がんサポーターケア学会
30	がん医療における患者-医療者間のコミュニケーションガイドライン 2022年版	PDF	その他	医療者	横断的	日本サイコオンコロジー学会 / 日本がんサポーターケア学会
31	遺族ケアガイドライン 2022年版	PDF	その他	医療者	横断的	日本サイコオンコロジー学会 / 日本がんサポーターケア学会
32	小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン	PDF	血液・リンパ	医療者	横断的	日本小児血液・がん学会
33	小児がん診療ガイドライン	PDF	その他	医療者	横断的	日本小児血液・がん学会
34	小児・AYA世代の腫瘍に対する陽子線治療の診療ガイドライン	PDF	その他	医療者	横断的	日本小児血液・がん学会
35	がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン2022	PDF	その他	医療者	横断的	日本腎臓学会

表3. 無料のWeb掲載が無い・旧版のみ掲載されているガイドライン (2025年3月現在)

	ガイドライン名称	状況	編著
1	患者さんのための胃がん治療ガイドライン 2023年版 第3版	Web上公開無	日本胃癌学会
2	市民のための肺がん診療ガイド 2023年版	Web上公開無	日本肺癌学会 肺癌診療ガイドライン改訂委員会
3	患者さんご家族のための子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドライン 第3版	Web上公開無	日本婦人科腫瘍学会
4	患者さんと家族のための放射線治療Q&A 2025年	Web上公開無	日本放射線腫瘍学会
5	患者さんのためのがんのリハビリテーション診療Q&A	Web上公開無	日本リハビリテーション医学会 日本がんサポーターティフケア学会
6	十二指腸癌診療ガイドライン 2021年版	Web上公開無	十二指腸癌診療ガイドライン作成委員会
7	大腸癌治療ガイドライン 医師用 2024年版	Web上公開無	大腸癌研究会
8	遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版	Web上公開無	大腸癌研究会
9	精巣腫瘍診療ガイドライン 2024年	Web上公開無	日本泌尿器科学会編
10	がん免疫療法ガイドライン 第3版	Web上公開無	日本臨床腫瘍学会
11	がん患者における気持ちのつらさガイドライン 2024年版	Web上公開無	日本サイコoncology学会 / 日本がんサポーターティフケア学会
12	がん患者診療のための栄養治療ガイドライン 2024年版 総論編	Web上公開無	日本栄養治療学会
13	口腔癌診療ガイドライン 2023年版	Web上公開無	日本口腔腫瘍学会、日本口腔外科学会
1	食道癌診療ガイドライン 2022年版	旧版のみ	日本食道学会
2	リンパ浮腫診療ガイドライン 2018年版 (第3版)	旧版のみ	日本リンパ浮腫学会
3	小児思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年版	旧版のみ	日本癌治療学会
4	よくわかるがん免疫療法ガイドブック患者さんご家族のために	旧版のみ	日本ハイブリッド学会「よくわかるがん免疫療法ガイドブック」作成WG
5	胃癌治療ガイドライン 医師用 2025年3月	旧版のみ	日本胃癌学会

表4. 過去1年間において、Web掲出で偏移が見られたガイドライン (2024年と2025年での比較)

2024年：2024年1月・2025年：2025年3月時点

	ガイドライン名称	2024年	2025年	状況
1	患者さんと家族のための放射線治療Q&A 2025年版	○	×	新刊発行 (旧版Web削除)
2	大腸癌治療ガイドライン 医師用 2024年版	○	×	新刊発行 (旧版Web削除)
3	遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2024年版	○	×	新刊発行 (旧版Web削除)
4	精巣腫瘍診療ガイドライン 2024年版	○	×	新刊発行 (旧版Web削除)
5	リンパ浮腫診療ガイドライン2024年版	○	×	新刊発行 (旧版閲覧可能)
6	小児思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年改定	○	×	新刊発行 (旧版閲覧可能)
7	よくわかるがん免疫療法ガイドブック患者さんご家族のために 第2版	○	×	新刊発行 (旧版閲覧可能)
1	頭頸部癌診療ガイドライン 2022年版 第4版	×	○	新規で公開 (PDF)
2	がん薬物療法に伴う末梢神経障害診療ガイドライン 2023年版 第2版	×	○	改定後の新刊掲載 (PDF)
3	腎盂・尿管癌診療ガイドライン 2023年版	×	○	改定後の新刊掲載 (HTML)
4	子宮体がん治療ガイドライン2023年版 第5版	×	○	改定後の新刊掲載 (PDF)
5	造血器腫瘍診療ガイドライン 2024年版	×	○	改定後の新刊掲載 (HTML)
6	骨転移診療ガイドライン改訂第2版	×	○	Minds新掲載 (PDF)
7	転移性肝がん診療ガイドライン	×	○	Minds新掲載 (PDF)

○：Webガイドラインの利用可能・×：利用不能